

『ATV 2020 + (PLUS)』

～ ALL TAOKA VISION 2020 + ～

～ ACTION FOR TARGETS OF VISION 2020 +

2019～2021年度

中期経営計画 『ATV 2020+』

ハーモニックケミカルズ

**TAOKA**

TAOKA CHEMICAL CO.,LTD

## 前中期 目指す目標と成長の源泉

3ケ年で売上高  
20%を超える成長の継続

(目標) 2020年に  
連結売上高 300億円を  
視野に捉える計画への発展

新製品化比率 20%  
の製品創出・事業化

海外事業比率 20%  
への拡大

# 2016～2018年度 前中期経営計画 の振り返り

## 前中期目標

- 1.安全とコンプライアンスの徹底による健全経営
- 2.事業の持続的成長を目指したグローバル経営・連結経営の推進
- 3.研究開発力の総合力強化
  - ・独自製品の継続的上市
  - ・新製品比率の向上
- 4.主力製品生産能力増強、供給体制構築と生産性向上
- 5.売上高営業利益率5.5%以上の継続的達成とROE10%以上

## 2018年度実績 (前中期最終年度)

### (進展するも課題)

海外事業比率は横這い

### (達成)

新製品化比率20%超を達成

(達成) 淀川工場樹脂EM-増産～播磨 新多目的N-1工場フル操業、播磨機能樹脂プラントの増強完成 稼働開始

(達成) 売上高営業利益率10.4%、ROE 17.1%

中期計画全体 概ね達成

## ① 地域社会との共存

コンプライアンスを遵守し、安全・安定操業を基本とした製造現場の7Sを実現し、地域に受容される良き製造メーカーとして地域貢献を果たします

## ② 環境との調和

レスポンシブルケアの理念に基づく製造メーカーとしての事業活動を展開し、環境と調和した製品開発・生産・販売・流通を推進します

## ③ 社会と暮らしへの貢献

変化する社会のニーズに的確に応える有用な製品を提供し、事業を通じて社会と暮らしに貢献します

## ④ 顧客満足の追求

顧客ニーズを的確に反映させた化学製品をタイムリーに開発し、顧客が求めるレベルを超える製品およびサービスを、当社ならではの技術をもって遅滞なく提供し、品質の信頼性と顧客満足度を高めます

### ⑤ 製造技術・製造体制の最適化

創業以来の歴史と伝統に立脚し、機能性化学品の製造メーカーとして人材の確保と育成を継続しながら機動性のある化学品の最適な生産方式の強みを追求し、事業の持続的な成長の礎とします

### ⑥ グローバル化への対応

住友化学グループの一員としてグローバルな視点で事業を展開し、時代の要請と環境変化に対応するとともに、存在感あるグループ会社としてその役割を果たします

### ⑦ ステークホルダーの尊重

全社員が経営理念を共有し、働き甲斐を感じながらともに成長し、株主、顧客、地域社会、従業員をはじめとする全てのステークホルダーに誠実に向き合い、その期待に応えます

# 2019～2021年度 中期経営計画 全社経営方針

1. **安全とコンプライアンスの徹底による健全経営**
2. **事業の持続的成長を目指したグローバル経営・連結経営の推進**
3. **研究開発の総合力強化と独自製品の継続的開発上市による新製品事業化率の向上**
4. **主力製品の生産能力増強・既存機動工場の更なる生産性向上による供給能力最大化及び受託品取込みと委託を含む協業の拡大**
5. **売上高営業利益率9%以上の継続的達成と投下資本利益率(ROIC)10%以上を目指した事業価値の向上**

# 中期経営計画 ALL TAOKA VISION 2020 +(PLUS) ～ 2023年の当社グループの姿～

## 当社グループの使命

- グローバル経済・社会の変化に柔軟に対応しながら、経営理念に基づく事業展開により快適で豊かな暮らしの実現に貢献する企業グループ
- 社会に必要とされ持続的な成長を続けるまとまりのある企業グループ

## 当社グループの中期ビジョン

- 1) ターゲットとする事業規模 **連結売上高 350億円 (2023年想定)**
- 2) 前中期ビジョンATV2020を「**超え、成長を続け、更にステップアップする**」  
(+は、「**超える、続ける、伸びる**」を意味し、**全社がステップアップすること**)
- 3) 成長性、収益性、効率性の観点からの経営目標の設定と積極的な事業展開。

- **3ヶ年売上高** 20%+ (以上) の持続的な成長を継続 (+)
- **海外事業比率** 20%+ (以上) を実現
- **新製品化率** 20%を継続 (+)
- **連結売上高** 300億円+、**営業利益** 25億円+、**ROIC** 10%+  
(2021年度目標)

# 中期経営計画 目標指標と設備投資計画

	2018年 中期計画	2018年度 実績	2021年度 中期計画
売上高	250億円	245億円	305億円
営業利益	18億円	25億円	30億円
営業利益率(%)	7.3%	10.4%	9.7%
ROIC(%) 投下資本利益率	ROE 10% 以上	14.2%	10%以上

**(前提)**

為替 ¥110/US\$  
ナフサ ¥51,000/K L

中期3年間 設備投資額 **75億円**  
(内 10億円は海外戦略投資)



# 中期経営計画 経営戦略と事業課題

## 経営戦略

新規開発品・  
新規受託品の  
積極的事業化

高機能製品・  
高付加価値製品  
の創出

海外事業の拡大  
海外市場への販売  
製品と顧客の開拓

主要事業・製品の  
収益拡大

事業戦略に応じた  
人材確保と育成

## 主な事業課題

1. 特殊樹脂モノマーの拡販、新規モノマーの開発提案
2. 光学製品の周辺材料・電子材分野製品の研究開発の加速、最速化
3. 受託事業の強化、新規受託品目の積極的取り込み
4. 既存製品の「マーケット、顧客、用途」開拓による事業拡大  
～ゴム薬・可塑剤・接着剤等の海外生産の模索、検討
5. 徹底した合理化の継続と効果・効率の追求

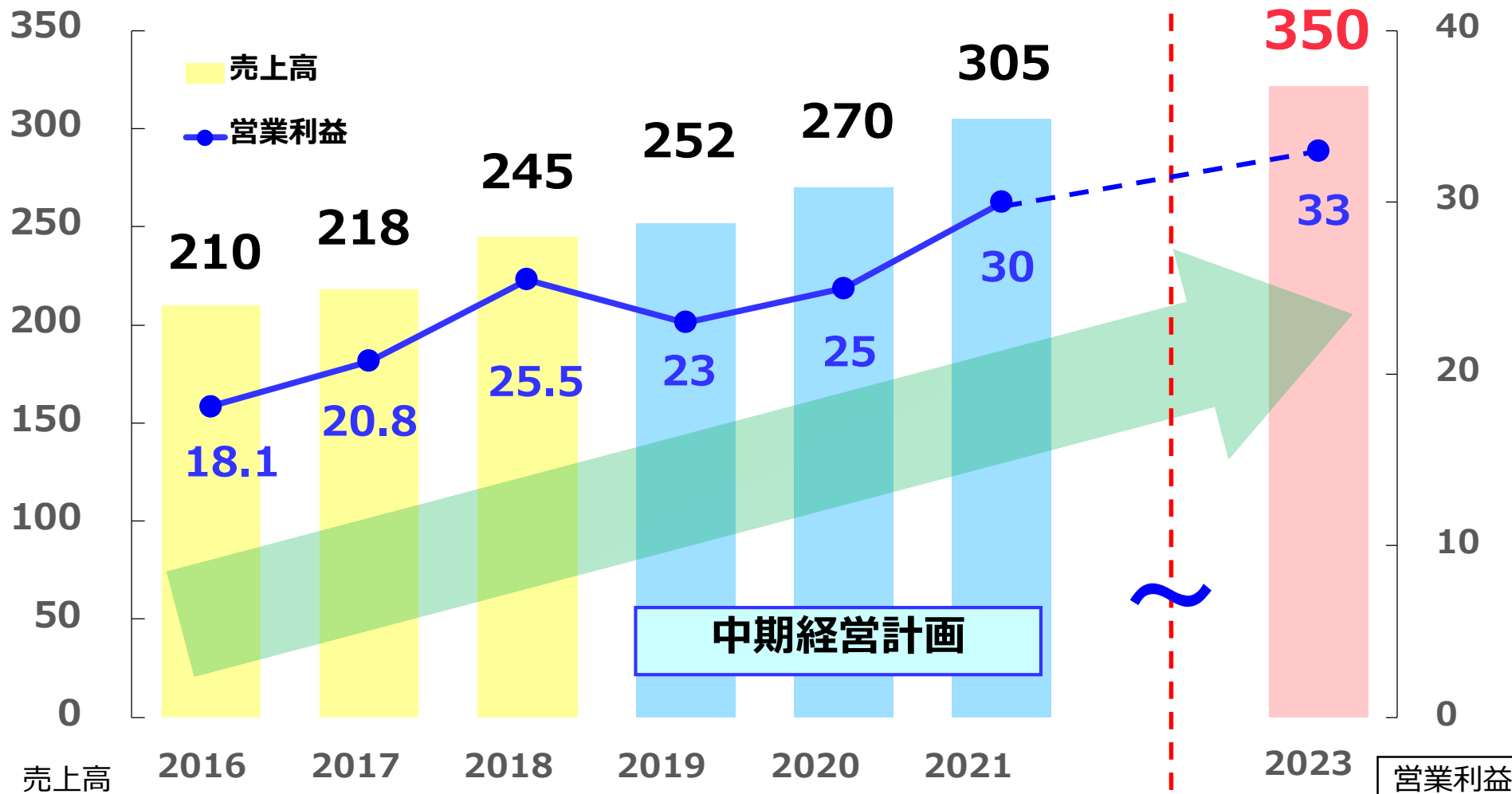
# 中期経営計画 事業部門別目標

(単位:億円)

セグメント	2018年 実績	2019年度 中期計画	2021年度 中期計画
精密化学品	130	医・農薬中間体、樹脂原料、 電子材料等の伸長により増収	150
機能材	37	ゴム薬品の東南アジア等の 海外市場での拡販により増収	49
機能樹脂	25	ワニス(絶縁被覆材)の伸長に より増収	50
化成品	47	可塑剤の用途開発による拡販	51
受託分析	5	作業環境分析の拡大	5
全社売上高	245	252	305

# 中期業績目標（連結）

（単位：億円）



持続的成長を目指し中期経営計画ATV2020+ (PLUS)の新たな挑戦へ